

第 4 7 回

# 松阪市美術展覧会

第 2 部 ( 美術工芸 ・ 写真 ・ 書道 )

入賞・入選作品および招待・審査委員作品一覧

会 期 平成18年10月15日(日)～10月22日(日)

会 場 松阪市文化財センター

主 催 松阪市・松阪市教育委員会

後 援 (財) 岡田文化財団

第 4 部 門

【 美術工芸 】

[ 賞 ]	[ 題 名 ]	[ 名 前 ]
一 席	象嵌飛鉋文壺	水谷博文
二 席	練り上げ花扇広口花器	印藤幸恵子
三 席	春・萌黄	森谷尚子
岡田文化財団賞	貫入大皿	西島哲也
奨励賞	古代に想いをよせて	森 鳶大介
奨励賞	漆拭きうつわ	中川邦雄
奨励賞	鉄釉掛分大鉢	小林 斎
奨励賞	おひなさま	田畑英子
入 選	花器。MIX	大橋信良
入 選	茶碗	尾上浪恵子
入 選	オブジェ 古に走せる	本間恵美
入 選	樹扁花器	一色美文
入 選	瓶	石川勝
入 選	雲水 蓋付器	黒部實誼
入 選	陶・兜「私の功名が辻」	熊野和雄
入 選	鶴首花入	尾上隆之
入 選	炭被り天目釉茶碗	中川温雄
入 選	白化粧搔落し花入	松原孝子
入 選	春を祝うケーキ	近田清美
入 選	産廃(参拝)赤富士	清水敬久
入 選	古代ピラミッド	唐木和彦
入 選	土びん	北島美智子
入 選	鈎窯壺	越山浩司
入 選	焼締花器	林 光雄
入 選	鈎窯	本川博久
入 選	志野釉形大壺	小倉信彦
入 選	灰釉壺	在 間 暉
入 選	辰砂花器	馬場弘幸
入 選	癒し(黒陶焼メ花入れ)	加藤洋子
入 選	斑釉耳付花入	柳田訓平
入 選	拭漆竹三角花生	角谷一成
入 選	一心	寺井さな
招待	焼締花入	立松隆司
招待	櫛目文花器	青木邦生
審査委員	花喰鳥	濱 田 稔

( 順 不 同 )

## 審査評

賞候補作品がたくさんあり、この松阪市展に出品される作品のレベルは、着実に高くなっていることを実感した。意欲的な作品が増加してきていることは評価される。しかし、斬新さを求める方向を間違えている作品も目立ち、残念に思われた。

出品作品のほとんどが陶芸であった状況から、様々な材料の工芸が出品されるようになったことも、松阪市展の成長をうかがうことができる。ただ、出品された作品の中には、美術工芸と認めることができるのか、疑問が出され議論した作品もあった。今後検討を要する課題である。

## 第 5 部 門 【 写 真 】

[ 賞 ]	[ 題 名 ]	[ 名 前 ]
一 席	軒先	杉 浦 和 男
二 席	アクシデント	中 西 佳 子
三 席	主役登場	松 本 修
岡田文化財団賞	御意見無用	古 林 伸 一
奨励賞	朝の魚市場	川 口 乃 子
奨励賞	昂ぶる瞬間	古 御 門 徹
奨励賞	白い路地	米 田 正 彦
奨励賞	煌びやかなシマフクロウ	木 村 一
奨励賞	リーダー	赤 塚 利 夫
奨励賞	松阪三社宵祭	吉 田 紘
奨励賞	好奇心	嶋 岡 恭 司
奨励賞	夢見る人	山 内 剛
奨励賞	宝物	大 川 倍 未
奨励賞	顔	朝 倉 隆 博
入 選	バルーン見学	牧 戸 秀 子
入 選	夏の午後	中 村 一 雄
入 選	神馬	菅 野 薫
入 選	仲良し	小 林 晃
入 選	朝 霧	森 崎 建 夫
入 選	遠足	椋 倉 勲
入 選	にらめっこ	北 出 守
入 選	光芒	中 西 敏 夫
入 選	惜しむ春	金 谷 清
入 選	暑い日	小 西 三 惠
入 選	不安な予兆	増 田 文 枝
入 選	写真に夢中	東 浦 良 明
入 選	にらくらまつり	北 出 勲
入 選	朝もやの景色	乾 吉 郎
入 選	冬の浜	伊 藤 邦 郎
入 選	にらめっこ	立 花 道 子
入 選	夏の日	福 田 秋 生
入 選	里の春	小 山 久 生
入 選	ひととき	小 鈴 木 秀 子
入 選	童と晩秋慕情	近 田 幸 弘
入 選	こまっちゃう	達 中 美 知 子

[ 賞 ]	[ 題 名 ]	[ 名 前 ]
入 選	躍動	中 北 義 郎
入 選	夢中	川 合 禮 子
入 選	オダランの日	阪 井 俊 明
入 選	寄り添う秋	堀 木 光 一
入 選	お参り	前 田 香 代 子
入 選	咲き誇る	西 川 耕 司
入 選	街角	正 成 義 男
入 選	水辺の休息	加 藤 洋 子
入 選	市場の女	鈴 木 久 司
入 選	ある男	石 山 一 夫
入 選	遺跡の昼さがり	宮 田 多 美 男
入 選	風に吹かれて	木 村 正 美
入 選	伝統を踊る	高 橋 克 己
入 選	川曳の女	川 合 恒 市
入 選	モザイクのある風景	田 端 勝 子
入 選	縁日	大 野 加 代 子
入 選	どろんこ祭りの男たち	鈴 木 憲 一
入 選	休日のひととき	出 口 量 造
入 選	静かな朝	浅 井 泰 三
入 選	麦ロールの丘	浅 井 崇 子
入 選	年輪	上 田 倫 代
入 選	悲しき冥王星	大 西 慶 治
入 選	丸坊主三兄弟	立 岡 秀 之
入 選	京の新文化	濱 田 眞 行
入 選	みなぎる若さ	濱 田 眞 糸
入 選	水珠模様	石 井 清
入 選	雨の浅草通り	中 川 寛 覚
入 選	輪舞	甲 元 寛 明
入 選	一時の朝焼け	中 村 惠 明
入 選	麗江の行商人	藤 原 孝 彦
入 選	修行僧	濱 田 そ よ 香
入 選	海女の行進	八 原 喜 一
入 選	かかし	池 山 正 枝
入 選	スマイル姉妹	山 腰 哲 也
入 選	冬の能登道を行く	山 腰 千 鶴
入 選	蝦夷鹿	宮 崎 政 明
入 選	大須の昼下り	藤 原 彰

[ 賞 ]	[ 題 名 ]	[ 名 前 ]
入 選	アマガエル	中 村 右 品
入 選	遭遇の瞬間	福 田 恵 美 子
入 選	光華 (こうか)	松 田 寿 和
入 選	里の秋	立 花 浩 二 子
入 選	舞	山 下 玉 子
入 選	厳冬の樹	古 川 廣 男
入 選	イタイヨー	御 子 暢 秀
入 選	祈り	堀 木 信 次 子
入 選	イテエー	東 条 和 子
入 選	旅立ち	阿 部 道 男
入 選	祭の男	伊 藤 睦 代 子
入 選	桜富士	森 博 子
入 選	赤ちゃん力士誕生	村 林 啓 司
入 選	激戦	池 田 稔
入 選	屏風岩公園の山桜	飯 田 義 明
入 選	三代夫婦の渡り初め	中 川 眞 一
入 選	体験学習	池 田 美 穂 子
入 選	神事を終えて	天 野 典 子
入 選	水紋	瀬 田 幸 平
招 待	寒い日	平 ま さ る
招 待	浜の男達	谷 口 雅 春
招 待	へびとカエルを売る少女	梅 川 紀 彦
招 待	水たまり	溝 田 幸 輝
審査委員	一人舞台	矢 田 新 男
審査委員	落葉の頃	織 戸 千 尋
審査委員	花すがた	長 島 幹 生

( 順 不 同 )

### 審 査 評

前年に比べ応募点数は減りましたが、選ばれた作品はいずれもレベルアップが認められます。今回はからずとも上位三賞ともモノクロームが選ばれましたが、いずれも物の本質がよく出ていると思われます。デジタルの作品もやはり多く出品されておりました。無理な表現をせずに、素直に作品を仕上げていたと思います。

今回、惜しくも賞を逸した作品にも、すばらしいものもあったと思われます。

第 6 部 門 【 書 道 】

[ 賞 ]	[ 題 名 ]	[ 名 前 ]
一 席	万葉歌	藤 木 美 代
二 席	苦筍賦	佐 藤 一 葉
三 席	楊大眼造像記(臨)	野 崎 麻 由
岡田文化財団賞	万葉歌	西 村 さ つ き
奨励賞	元徳明の詩	安 休 美 千 代
奨励賞	五言絶句	勝 田 真 美
奨励賞	高士談詩	鈴 木 美 代 子
奨励賞	奥の細道より	高 尾 由 美
奨励賞	万葉集のうた	中 里 好 江
奨励賞	島崎藤村の詩	白 武 房 子
奨励賞	菜根譚	中 村 み ど り
奨励賞	姚孝錫詩	山 代 寿 子
入 選	洪亮吉の詩	鈴 川 ゆ づ 季
入 選	五言律詩	池 端 美 佐 子
入 選	梁簡文帝詩	岩 見 隆 子
入 選	度関山	藤 原 あ さ 子
入 選	五言絶句	川 村 典 子
入 選	曹全碑之一節	西 尾 美 樹 子
入 選	王瑤湘の詩	西 浦 文
入 選	張斛詩	不 殿 富 士 子
入 選	蘭亭叙之一節	池 之 上 ち さ か
入 選	王仲通	浅 香 晴 美
入 選	梁元帝詩	濱 口 直 美
入 選	王又旦の詩	渡 邊 照 子
入 選	梅の花	濱 口 正 子
入 選	山茶花	前 鳶 英 子
入 選	王鐸 擬山園帖	阿 部 和 枝
入 選	山家集	井 田 洋 子
入 選	五言絶句	大 西 栄 子
入 選	誠実	河 村 美 知 子
入 選	若山牧水「旅とふる郷より」	岡 田 卓 雄
入 選	秋月	安 達 江 里
入 選	鄭審の詩	上 山 ち づ
入 選	千字文の一節	三 宅 愛 子
入 選	陸師詩	村 林 由 華

[ 賞 ]	[ 題 名 ]	[ 名 前 ]
入選	韋応物詩	伊藤美幸
入選	史肅詩	藤木麻里子
入選	フレイザーの語	森田容子
入選	泛水の曲	小山明子
入選	王或詩	濱田陽子
入選	別恨	北川享子
入選	梁簡文帝詩	飯田幸美
入選	杜甫 詩	森川佳子
入選	五言律詩	大戸美枝子
入選	李群玉詩	中川洋子
入選	五言絶句	宮寄喜美代
入選	白居易之詩	清野明子
入選	神仙篇 魯范	西口宰平
入選	米芾之詩	岩木すま子
入選	和康五望月有懷	菅野加代子
入選	梁簡文帝詩	中村千代美
入選	阪正臣の歌	谷口美佐子
入選	楊素詩	田中元美子
入選	万葉集	森 慶子
入選	五言絶句	出江敏彦
入選	山亭夏日	鷺尾博
入選	永井荷風の文	結城勝代
入選	島崎藤村の詩	珎道綾華
入選	島崎藤村の詩	中野紀代子
入選	萩原朔太郎の詩	日野出照代
入選	土井晩翠の詩	中村由香
入選	百人一首	村田和枝
入選	わたしがあなたを選びました	仲井惠美
入選	百人一首	松田眞千子
入選	万葉集	秋山洋子
入選	金槐和歌集	田所一代
入選	李夢陽 五絶二首	山下絹子
入選	自浄其意	宗林一雄
入選	胡兕飲馬泉詩	田畑喜美子
入選	徐渭	高波瀬美重子
入選	米元章臨	西岡沙希子
入選	法要	三宅弘呂子



[ 賞 ]	[ 題 名 ]	[ 名 前 ]
入 選	唐張喬詩	中 川 み つ 代
入 選	百人一首	鈴 木 か よ 子
入 選	七言絶句	中 山 良 政
入 選	杜甫の詩「倦夜」	民 谷 久 美 子
入 選	萬古貞心鐵石盟	吉 川 あ づ さ
入 選	楓橋夜泊	矢 野 量 子
入 選	光明皇后樂毅論之一節	小 浜 美 沙
入 選	智貴免禍	山 田 健 司
入 選	王安石「南浦」	濱 口 千 代 子
入 選	白居易詩	豊 田 敬 子
入 選	心	小 野 多 美 子
入 選	古今和歌集	村 井 恒 子
入 選	創作	川 上 政 次 郎
入 選	元好問詩	辻 充 代
入 選	張宇詩	前 田 麻 紗 子
入 選	李陵詩	山 口 友 子
入 選	智永千字文(臨書)	中 田 惺
入 選	蘇軾詩	棗 有 紀
入 選	無	政 木 喜 久 次
入 選	芥川竜之介の句	大 矢 玲 子
入 選	李白詩二首	田 中 操
招 待	宗左近の詩	中 村 小 汀
招 待	蕭颯	鬼 頭 翔 雲
審査委員	寧嘉	佐 久 美 泉 涯
審査委員	牧水のうた	北 川 綾 子
審査委員	林の奥から	清 水 溪 山

( 順 不 同 )

## 審 査 評

書は心の窓とか心の画とか言われるように、その人のその時の心の姿が表われるものです。しかも磨(と)ぎぬかれた腕が素直に表現されるので、どんなに心が美しく、明るさや忍耐強さがあっても、書を通しての作品に表われるには、練磨の継続なくしては、十分な満足はいく書にはなりません。

年数とか錬度とか、学書の道は限りなく遠いものです。作品の優劣はそんなところに自然に出てくるようで、展示可能な限りの作品を審査させていただきました。

運営委員	近藤哲	吉川久美子	前田多香子
	山口友子	野口巳織子	岡田久春
	菅原好彦	立松隆司	梅川紀彦
	鬼頭翔雲		

審査委員

美術工芸...	森本孝	高山光	濱田稔
写真 ...	織戸千尋	長島幹生	矢田新男子
書道 ...	佐久美泉涯	清水溪山	北川綾子